

# 上達のこつ プロが伝授

## OBの秋山選手(広島)ら特別講師

八戸

光星学院スポーツ局(三本木編局長)は14日、八戸市の八戸学院大でスポーツクリニックを開催した。特別講師は八戸大(当時)OBでプロ野球・広島秋山翔吾選手(37)と、元ヤクルトの田代将太郎さん(36)。市内外の小中学生が、憧れのプロから上達のこつを学んだ。

(丹代裕介)

### 八学大で小中学生にクリニック



秋山翔吾さん(左)の指導に真剣に聞き入る参加者

クリニックは運動部や愛好会などに所属する小中学生に、技術やパフォーマンス、人間力を高めてもらうために数回開催。運営は同大野球部の部員が講師を務めるが、2年に1度プロ選手らを招いている。この日は小学生32人、中学生33人が参加。秋山さんと田代さんが、投球や打撃のこつを実演を交えながら解説した。最後はじゃんけん大会が行われ、秋山さんに勝った子もちにサイン入りの広島のユニホームや、帽子などが贈られた。ユニホームを手にした市立下長中3年の後藤祥太さん(15)は「素直にうれしい。教わったことを生かし、試合でヒットを打ちたい」と意気込んだ。市立八戸一中1年の佐々木大樹さん(13)は「2人の体幹の強さや素振りのスピードに驚かされた。近づけるよう練習を重ねたい」と話した。

た。

13日には同大の卒業生と在学学生、教職員でつくる同窓会の発足40周年記念大会が八戸プラザホテルで開かれ、秋山さんが講演した。



打撃練習のこつを、実演を交えて解説する秋山翔吾さん(左)



ボールを拾う際のコツを伝授する田代将太郎さん(右)